

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月11日
【四半期会計期間】	第149期第2四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社石井鐵工所
【英訳名】	Ishii Iron Works Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石井 宏治
【本店の所在の場所】	東京都中央区月島三丁目26番11号
【電話番号】	03-4455-2503(ダイヤルイン)
【事務連絡者氏名】	専務取締役経営管理部長 藤本 豊
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区月島三丁目26番11号
【電話番号】	03-4455-2503(ダイヤルイン)
【事務連絡者氏名】	専務取締役経営管理部長 藤本 豊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第148期 第2四半期 連結累計期間	第149期 第2四半期 連結累計期間	第148期
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
売上高 (千円)	4,116,586	4,261,999	9,436,936
経常利益 (千円)	606,117	214,616	1,133,691
四半期(当期)純利益 (千円)	318,952	93,010	646,952
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	552,164	160,888	749,628
純資産額 (千円)	9,102,983	9,276,758	9,300,412
総資産額 (千円)	18,551,274	19,946,417	19,488,004
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	8.65	2.52	17.55
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	49.0	46.5	47.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	754,792	597,398	271,045
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	106,656	275,113	195,183
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	985,555	515,518	486,800
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,298,825	2,129,738	1,245,095

回次	第148期 第2四半期 連結会計期間	第149期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	6.38	2.01

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の業況感が総じて良好な水準を維持し、個人消費も駆け込み需要の反動の影響が和らぐなど、引き続き緩やかな回復基調が続いているものの、生産や輸出面を中心に弱めの動きも見られました。

このような情勢の下で、当社グループは平成24年4月にスタートした三ヶ年経営計画に沿って、長期的・持続的成長を目指して諸施策に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は42億61百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は1億20百万円（前年同四半期比74.7%減）、経常利益は為替差益などにより2億14百万円（前年同四半期比64.6%減）、四半期純利益は93百万円（前年同四半期比70.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(鉄構事業)

受注高は、前年同四半期に比べ13億10百万円増加し、34億56百万円（前年同四半期比61.1%増）となりました。

売上高は、海外大型案件の工事進捗などにより、36億57百万円（前年同四半期比3.9%増）となりましたが、営業損益は、工事原価の高騰などにより、2億41百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益1億26百万円）となりました。

(不動産事業)

売上高は、賃貸収入の増加により6億4百万円（前年同四半期比1.2%増）となり、営業利益も売上の増加に加え営業費用が減少したことにより、3億61百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億58百万円増加の199億46百万円となりました。これは、仕掛品の増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億82百万円増加の106億69百万円となりました。これは、短期借入金や前受金の増加などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少の92億76百万円となりました。これは、配当金支払いに伴う利益剰余金の減少などによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ8億84百万円増加し、21億29百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、5億97百万円（前年同四半期比1億57百万円減少）となりました。主な増加の内訳は、売上債権の減少額10億87百万円、前受金の増加額4億75百万円、税金等調整前四半期純利益1億82百万円、減価償却費1億31百万円、主な減少の内訳は、仕入債務の減少額6億48百万円、たな卸資産の増加額4億25百万円、法人税等の支払額1億89百万円などであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億75百万円（前年同四半期比1億68百万円増加）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出2億45百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、5億15百万円（前年同四半期比は9億85百万円の減少）となりました。これは、短期借入金の純増加額7億円、配当金の支払額1億84百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	37,840,000	37,840,000	東京証券取引所 市場第1部	単元株式数 1,000株
計	37,840,000	37,840,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日		37,840,000		1,892,000		1,390,995

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
富国生命保険相互会社	東京都千代田区内幸町2丁目2番2号	3,653	9.65
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	2,616	6.91
石井鐵工所取引先持株会	東京都中央区月島3丁目26番11号	1,235	3.26
石井宏治	東京都渋谷区	1,017	2.69
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号	1,000	2.64
黒田康敬	北海道士別市	900	2.38
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	756	2.00
株式会社三重銀行	三重県四日市市西新地7番8号	702	1.86
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋1丁目9番1号	700	1.85
イヌイ倉庫株式会社	東京都中央区勝どき1丁目13番6号	691	1.83
計	-	13,271	35.07

(注) 1. 上記の他、当社は自己株式973千株を所有しております。

2. イヌイ倉庫株式会社は、平成26年10月1日付で乾汽船株式会社と経営統合し、乾汽船株式会社となりました。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 973,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 36,754,000	36,754	
単元未満株式	普通株式 113,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	37,840,000		
総株主の議決権		36,754	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社石井鐵工所	東京都中央区月島三丁目 26番11号	973,000	-	973,000	2.57
計		973,000	-	973,000	2.57

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,245,095	2,129,738
受取手形及び売掛金(純額)	1 5,310,325	1 4,234,324
商品及び製品	331	127
仕掛品	1,342,475	1,779,995
原材料及び貯蔵品	1,694	1,694
その他	470,386	457,002
流動資産合計	8,370,308	8,602,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,593,047	6,470,930
土地	2,017,038	2,017,038
その他(純額)	130,843	371,094
有形固定資産合計	8,740,929	8,859,063
無形固定資産	45,831	42,033
投資その他の資産	1 2,330,935	1 2,442,436
固定資産合計	11,117,696	11,343,533
資産合計	19,488,004	19,946,417
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,226,794	1,600,466
短期借入金	2,200,000	2,900,000
未払法人税等	190,937	112,233
前受金	671,008	1,159,192
引当金	117,680	117,967
その他	126,061	164,595
流動負債合計	5,532,481	6,054,454
固定負債		
繰延税金負債	973,420	994,613
役員退職慰労引当金	210,240	216,840
退職給付に係る負債	473,449	480,701
長期預り保証金	2,998,000	2,923,049
固定負債合計	4,655,110	4,615,204
負債合計	10,187,592	10,669,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,892,000	1,892,000
資本剰余金	1,390,995	1,390,995
利益剰余金	5,717,039	5,625,711
自己株式	161,761	161,964
株主資本合計	8,838,273	8,746,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	469,901	525,800
為替換算調整勘定	10,719	2,995
その他の包括利益累計額合計	459,181	528,795
少数株主持分	2,956	1,220
純資産合計	9,300,412	9,276,758
負債純資産合計	19,488,004	19,946,417

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,116,586	4,261,999
売上原価	3,103,109	3,576,234
売上総利益	1,013,476	685,764
販売費及び一般管理費	538,758	565,567
営業利益	474,717	120,197
営業外収益		
受取利息及び配当金	22,614	21,230
為替差益	129,833	82,383
その他	12,193	12,838
営業外収益合計	164,640	116,451
営業外費用		
支払利息	18,538	19,520
支払手数料	1,911	1,384
保険解約損	8,129	-
その他	4,662	1,126
営業外費用合計	33,241	22,031
経常利益	606,117	214,616
特別損失		
固定資産除却損	86,034	1,146
関係会社整理損失引当金繰入額	-	16,800
土壌浄化費用	-	13,700
その他	8,012	-
特別損失合計	94,046	31,646
税金等調整前四半期純利益	512,070	182,970
法人税、住民税及び事業税	186,370	108,716
法人税等調整額	8,829	16,983
法人税等合計	195,199	91,733
少数株主損益調整前四半期純利益	316,870	91,237
少数株主損失()	2,081	1,773
四半期純利益	318,952	93,010

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	316,870	91,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	234,351	55,899
為替換算調整勘定	941	13,752
その他の包括利益合計	235,293	69,651
四半期包括利益	552,164	160,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	554,137	162,624
少数株主に係る四半期包括利益	1,973	1,736

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	512,070	182,970
減価償却費	130,337	131,706
貸倒引当金の増減額(は減少)	200	1,650
退職給付引当金の増減額(は減少)	22,301	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	7,252
賞与引当金の増減額(は減少)	6,848	5,736
その他の引当金の増減額(は減少)	1,510	31,150
受取利息及び受取配当金	22,614	21,230
支払利息	18,538	19,520
売上債権の増減額(は増加)	871,834	1,087,291
たな卸資産の増減額(は増加)	354,276	425,736
仕入債務の増減額(は減少)	76,838	648,341
前渡金の増減額(は増加)	98,518	24,177
前受金の増減額(は減少)	59,512	475,856
未払金の増減額(は減少)	49,624	34,387
その他	76,082	117,853
小計	925,022	785,238
利息及び配当金の受取額	22,614	21,230
利息の支払額	18,538	19,520
法人税等の支払額	174,305	189,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	754,792	597,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	101,813	245,730
投資有価証券の取得による支出	2,693	2,703
投資その他の資産の増減額(は増加)	1,125	27,461
その他	1,024	782
投資活動によるキャッシュ・フロー	106,656	275,113
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	800,000	700,000
配当金の支払額	184,344	184,278
その他	1,211	203
財務活動によるキャッシュ・フロー	985,555	515,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	39,087	46,840
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	298,331	884,643
現金及び現金同等物の期首残高	1,597,156	1,245,095
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,298,825	2,129,738

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
流動資産	1,300千円	800千円
投資その他の資産	7,810	6,660

2 保証債務

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
擎邦國際科技工程股份有限公司 (留保金返還保証)	43,891千円 (12,990千 ニュー台湾ドル)	IIW Singapore Pte Ltd (契約履行保証等) 485,645千円 (5,648千 シンガポールドル)
IIW Singapore Pte Ltd (契約履行保証等)	462,035千円 (5,648千 シンガポールドル)	

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
従業員給料及び手当	217,035千円	215,032千円
法定福利費	34,416	38,289
賞与引当金繰入額	48,420	49,601
退職給付費用	27,627	28,918
役員退職慰労引当金繰入額	6,600	6,600

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	1,298,825千円	2,129,738千円
現金及び現金同等物	1,298,825	2,129,738

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	184,344	5.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	184,338	5.0	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鉄構事業	不動産事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	3,518,943	597,643	4,116,586	-	4,116,586
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,518,943	597,643	4,116,586	-	4,116,586
セグメント利益又は損失 ()	126,053	347,780	473,833	884	474,717

(注)1. セグメント利益の調整額884千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鉄構事業	不動産事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	3,657,083	604,915	4,261,999	-	4,261,999
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,657,083	604,915	4,261,999	-	4,261,999
セグメント利益又は損失 ()	241,889	361,823	119,934	262	120,197

(注)1. セグメント利益の調整額262千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	8円65銭	2円52銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	318,952	93,010
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	318,952	93,010
普通株式の期中平均株式数(千株)	36,867	36,867

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月11日

株式会社石井鐵工所

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大橋 一生 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山本 秀仁 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社石井鐵工所の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社石井鐵工所及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。